「市長と地域ふれあいトーク」が始まりました！

市長と市民の皆さんが膝を交えて懇談し、市政をより身近に感じてもらえる機会を創出する「市長と地域ふれあいトーク」事業を本年度より実施しています。

同事業は、市民の皆さんと市が地域のまちづくりの現状と課題について認識を共有し、その解決などに取り組む共創のまちづくりのさらなる推進を図るため、市長が年間を通して市内十三地区に出向き、その地区で活動する団体などの活動や地域資源の視察を行うほか、地区団体との懇談を行います。

今回は、四月二十五日に開催した勿来地区の様子を紹介します。今後についても、各地区での「市長と地域ふれあいトーク」の様子をお知らせしていきます。

自主的な防災活動などを視察・懇談

防災のまちづくりについての認識を共有

市長は、勿来第二小学校内の耐震性貯水槽を視察し、関田総合自主防災会から災害時における応急給水所の開設・運営に係る体制の整備状況などの説明を受けたほか、災害時の避難施設として地域住民の受け入れに協力している「勿来温泉関の湯」の館内設備などを視察しました。

関田集会所では、同自主防災会の皆さんと災害時の被害を軽減するための地域の協働体制や平時の防災活動など、地域コミュニティーの形成を含めた防災のまちづくりについて懇談しました。

○お問い合わせ
広報広聴課広聴係
☎22－7438

◀詳しくはこちら

市木づかい住宅ポイント事業を実施

林務課林業振興係　☎22－1181

市産木材を使用し、住宅を新築などした方に、本市産の農林水産物などの商品と交換可能なポイントを交付します。

▶**対象者**　主要構造材などに市産木材を一定量使用した住宅を、新築や増・改築または購入した方（併用住宅の場合、住宅部分のみ対象）
▶**募集数**　50件（先着順）
▶**交付ポイント数**　１世帯（１棟）１回限りで20万ポイント（１ポイントは１円相当）
▶**申し込み方法**　同課に備え付けの申請書（市ホームページからも入手可）に必要事項を記入し、必要書類を添えて、〒970－8686　林務課へ（直接持参も可）
▶**申請期間**　７月１日㈮～来年２月28日㈫必着
※要件など詳しくは、同課へ。

第38回危険業務従事者叙勲

同叙勲は、警察官や自衛官、消防吏員など、著しく危険性の高い業務に精励した方に贈られるものです。

＝年齢は４月29日現在。50音順・敬称略＝

○瑞宝双光章
猪狩好雄㈿＝元県警部　郷ケ丘
佐藤淳一㈥＝元２等陸尉　遠野町大平
宗川博雄㈿＝元県警部　洋向台
吉田壽則㈿＝元県警部　中央台

○瑞宝単光章
佐藤成男㈿＝元県警部補　平北白土
松﨑正㊻＝元市消防司令長　好間町下好間
山添靱正㈦＝元市消防司令長　石森

災害に備える

防災マップ・津波ハザードマップを改訂～逃げ遅れゼロ・災害死ゼロを目指して～

○お問い合わせ　災害対策課災害対策係　☎22－1242

皆さんが暮らす地域には、どのような災害リスクがあるでしょうか。眠っているときや通勤・通学時、家族と離れているときに災害が起きたら、どのように行動すれば良いでしょうか。

いざというときに速やかに避難し、大切な命を守るためには、日頃からの備えが大切です。

本年３月に改訂された「防災マップ」「津波ハザードマップ」を活用し、災害に備えましょう。

●防災マップと津波ハザードマップの特徴

	防災マップ	津波ハザードマップ
掲載内容	自然災害の総合的な情報	津波災害に特化した情報
作成地域	全13地区	沿岸５地区
改訂のポイント	▶河川洪水浸水　1,000年に１度の大雨を想定 ▶津波浸水　平成31年３月公表の「県津波浸水想定」を反映 ▶土砂災害警戒区域等　令和３年10月までに県が指定した箇所を反映	

配布方法と配布場所

回覧板で全戸配布しています。津波ハザードマップは、沿岸の対象世帯のみ配布しています。各マップは同課または各支所に備え付けてありますので、希望する方はお声掛けください。

●逃げ遅れゼロ・災害死ゼロのための確認事項

01　地図で地域の中にある災害リスクを確認しよう

02　災害から命を守るための避難方法を確認しよう

03　防災情報の入手方法や日頃の備えを確認しよう

●災害用大型トイレカーを導入

災害が発生した場合に、被災地などへ速やかに出向き、被災者の良好な生活環境を維持するため、トラックの荷台部分に水洗式のトイレルームを装備した大型トイレカーを導入しました。

▶**設備内容**　男性用小便器１据、男性用大便器２据、女性用大便器２据、多目的用大便器１据、オストメイト便器１据